

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 北角浩一
 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,301	△1.3	△136	—	△130	—	△231	—
21年3月期第3四半期	1,318	—	0	—	△11	—	△110	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	△11,063.10	—
21年3月期第3四半期	△5,221.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	2,011	861	42.8	41,193.91
21年3月期	2,268	1,103	48.6	52,791.87

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 861百万円 21年3月期 1,103百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	200.00	200.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,891	△8.8	△268	—	△259	—	△358	—	△17,159.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	21,192株	21年3月期	21,187株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	290株	21年3月期	290株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	20,899株	21年3月期第3四半期	21,121株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が持ち直し、企業収益の減少の速度は緩やかになってきたものの物価は緩やかなデフレ傾向にあり、雇用情勢は一段と悪化し失業率が高水準にあるなど、厳しい状況が続きました。

当社が属しておりますコンシューマゲーム業界におきましては、据置型ゲーム期の値下げ、携帯型ゲーム機の新型が相次いで発売されるなど、幅広い顧客層に対するプロモーションが行われたものの、一部大型タイトルに販売が集中するなど、厳しい環境が続きました。モバイルゲーム業界におきましては、高速データ通信可能な端末の普及、並びにスマートフォン市場の拡大が進むと共に、ソーシャルネットワークワーキングサービスの躍進が続いており、市場は拡大傾向となりました。アミューズメント業界におきましては、新型インフルエンザの流行や、個人消費の低迷等により、厳しい事業環境が続きました。

このような環境の下、当社ではコンシューマ事業におきましては、新しい顧客層の開拓や既存顧客の満足度向上に注力してまいりました。モバイル事業におきましては、新規サイトを立ち上げる等、会員数の増加に注力してまいりました。アミューズメント事業におきましては、イベントの開催、新規店舗の出店等、収益性を高めるために努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,301,193千円（前年同期比1.3%減）、コンシューマ事業における当第4四半期発売予定タイトルに係る仕掛品の評価減を行ったことに伴う評価減82,560千円等の影響を受け、営業損失136,500千円（前年同期は816千円の営業利益）、経常損失130,355千円（前年同期比1,006.0%増）、コンシューマ事業における開発中タイトルの開発中止に伴う開発中止損失80,242千円の計上の影響を受け、四半期純損失231,213千円（前年同期比109.6%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（コンシューマ事業）

当事業におきましては、国内で10タイトル、海外で12タイトルを発売いたしました。

国内市場におきましては、『ラピュセルナラグナロック』（PlayStationPortable専用ゲームソフト）、『流行り神3 警視庁怪異事件ファイル』（PlayStationPortable専用ゲームソフト）を発売し、既存顧客の満足度の向上に努めるとともに、『ウィッチテイル 見習い魔女と7人の姫』（ニンテンドーDS専用ゲームソフト）、『MARUHAN・パチンコ&パチスロ必勝ガイド協力 ザ・パチンコホール』（ニンテンドーDS専用ゲームソフト）を発売し、新規顧客の獲得に注力いたしました。また、ダウンロード配信専用ゲームソフト『ディスガイア インフィニット』（PlayStationPortable専用ゲームソフト）そのほか、『魔界戦記ディスガイア3』（PlayStation3専用ゲームソフト）にゲーム内容を追加できる『魔界戦記ディスガイア3 ラズベリル編はじめました。』（PlayStation3専用ゲームソフト）等を発売いたしました。

海外市場におきましては、北米市場において『Disgaea 2: Dark Hero Days』（PlayStationPortable専用ゲームソフト）、『Mana Khemia 2: Fall of Alchemy』（PlayStation2専用ゲームソフト）等8タイトルを発売、欧州市場においては『Cross Edge』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『Prinny: Can I Really Be the Hero』（PlayStationPortable専用ゲームソフト）等4タイトルを発売いたしました。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,204,591千円（前年同期比0.1%減）、当第4四半期発売予定タイトルに係る仕掛品の評価減を行ったことに伴う評価減82,560千円等の影響を受け、営業利益4,806千円（前年同期比97.5%減）となりました。

（モバイル事業）

当事業におきましては、4月より新規に立ち上げた公式サイト「日本アドベンチャー」の運営及び、既存サイトでのキャンペーン展開の他、コンシューマ事業で発売をしたタイトルのデジタルコンテンツの充実等、会員数の増加に努めてまいりました。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高33,187千円（前年同期比41.1%減）、営業利益3,424千円（前年同期は10,116千円の営業損失）となりました。

（アミューズメント事業）

当事業におきましては、アミューズメント施設の運営を中心に事業を展開してまいりました。また、イベントの開催等による新規顧客の獲得及び既存顧客の固定顧客化、新規店舗の出店等、収益性を高めるために努めてまいりました。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高34,430千円（前年同期比7.0%増）、営業損失17,853千円（前年同期比36.8%減）となりました。

(その他の事業)

当事業におきましては、国内・海外にてグッズ販売を行いました。国内におきましては、コミックマーケットへの出展に合わせた新作グッズ販売の他、当社ホームページにおける通信販売を行ってまいりました。また、海外におきましては、オンライングッズショップを運営し、当社ライセンス商品をはじめ、多様なニーズに対応できる商品ラインナップを目指してまいりました。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高28,984千円（前年同期比21.9%増）、営業利益14,858千円（前年同期比50.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結累計期間末における総資産は2,011,201千円となり、前連結会計年度末に比べ257,660千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度に比べ14,397千円の増加）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度に比べ、341,342千円の減少）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の取得等による増加（前連結会計年度に比べ79,373千円の増加）等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間における負債は1,150,166千円となり、前連結会計年度に比べ15,503千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（前連結会計年度に比べ61,186千円の減少）、短期借入金の増加（前連結会計年度に比べ85,000千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（前連結会計年度に比べ29,173千円の減少）等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結累計期間における純資産は861,035千円となり、前連結会計年度に比べ242,156千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、四半期純損失による減少等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は487,199千円となり、前連結会計年度末に比べ14,397千円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は91,138千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失215,440千円、売上債権の減少額338,125千円、たな卸資産の増加額118,858千円、仕入債務の減少額58,670千円、法人税等の支払額26,552千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は106,868千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出131,915千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は51,697千円となりました。これは主に、短期借入金の純増額85,000千円、長期借入金の返済による支出29,173千円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当第3四半期の進捗状況及び今後の受注状況等を勘案し、通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成21年2月5日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用については、海外連結子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

②定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の受注契約については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は39,456千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ12,394千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,199	552,801
受取手形及び売掛金	63,185	404,528
商品及び製品	221,803	35,834
仕掛品	217,252	366,602
繰延税金資産	20,814	32,209
その他	61,943	76,843
流動資産合計	1,152,199	1,468,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	395,612	412,696
機械装置及び運搬具（純額）	3,603	4,973
土地	182,024	182,024
その他（純額）	49,836	48,420
有形固定資産合計	631,077	648,114
無形固定資産		
のれん	23,958	33,525
その他	25,066	23,897
無形固定資産合計	49,025	57,422
投資その他の資産		
投資有価証券	154,226	74,852
その他	42,473	37,451
貸倒引当金	△17,800	△17,800
投資その他の資産合計	178,900	94,504
固定資産合計	859,002	800,041
資産合計	2,011,201	2,268,862

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,529	91,716
短期借入金	590,000	505,000
1年内返済予定の長期借入金	40,008	40,008
未払金	74,375	71,672
未払法人税等	1,302	30,661
賞与引当金	24,070	25,346
売上値引引当金	63,044	63,920
その他	58,703	41,274
流動負債合計	882,033	869,600
固定負債		
長期借入金	264,259	293,432
退職給付引当金	3,547	2,046
その他	326	591
固定負債合計	268,133	296,070
負債合計	1,150,166	1,165,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	240,860	240,835
資本剰余金	230,860	230,835
利益剰余金	469,282	704,675
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	924,131	1,159,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,623	△16,093
為替換算調整勘定	△57,473	△40,189
評価・換算差額等合計	△63,096	△56,282
純資産合計	861,035	1,103,191
負債純資産合計	2,011,201	2,268,862

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	1,318,277	1,301,193
売上原価	726,153	862,609
売上総利益	592,124	438,584
販売費及び一般管理費	591,307	575,084
営業利益又は営業損失(△)	816	△136,500
営業外収益		
受取利息	5,234	3,051
受取配当金	1,916	1,053
為替差益	—	8,374
その他	1,604	2,955
営業外収益合計	8,755	15,435
営業外費用		
支払利息	8,401	7,442
為替差損	12,640	—
その他	316	1,847
営業外費用合計	21,358	9,289
経常損失(△)	△11,786	△130,355
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,842
固定資産売却損	117	—
開発中止損失	—	80,242
特別損失合計	117	85,084
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,903	△215,440
法人税等	98,396	15,773
四半期純損失(△)	△110,300	△231,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,903	△215,440
減価償却費	76,128	53,502
のれん償却額	5,193	5,193
開発中止損失	—	80,242
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,557	△1,154
売上値引引当金の増減額(△は減少)	3,092	3,151
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13	1,501
受取利息及び受取配当金	△7,151	△4,105
支払利息	8,401	7,442
為替差損益(△は益)	△1,794	△6,588
有形固定資産売却損益(△は益)	117	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,842
売上債権の増減額(△は増加)	65,647	338,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	△185,400	△118,858
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,894	△58,670
前渡金の増減額(△は増加)	△2,908	—
その他	99,199	31,731
小計	33,271	120,916
利息及び配当金の受取額	7,077	4,493
利息の支払額	△8,006	△7,718
法人税等の支払額	△84,420	△26,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,077	91,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△80,000	—
定期預金の払戻による収入	120,000	—
有形固定資産の取得による支出	△23,955	△23,210
有形固定資産の売却による収入	153	—
無形固定資産の取得による支出	△16,130	△10,435
投資有価証券の取得による支出	△333,376	△131,915
投資有価証券の売却による収入	333,759	64,486
その他	△1,499	△5,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,049	△106,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	210,000	85,000
長期借入金の返済による支出	△29,173	△29,173
株式の発行による収入	1,870	50
自己株式の取得による支出	△16,870	—
配当金の支払額	△5,250	△4,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	160,576	51,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,180	△21,570
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	73,269	14,397
現金及び現金同等物の期首残高	426,556	472,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	499,825	487,199

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	コンシューマ事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,205,933	56,366	32,192	23,786	1,318,277	—	1,318,277
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,205,933	56,366	32,192	23,786	1,318,277	—	1,318,277
営業利益又は営業損失（△）	191,353	△10,116	△28,228	9,881	162,890	(162,073)	816

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	コンシューマ事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,204,591	33,187	34,430	28,984	1,301,193	—	1,301,193
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,204,591	33,187	34,430	28,984	1,301,193	—	1,301,193
営業利益又は営業損失（△）	4,806	3,424	△17,853	14,858	5,237	(141,737)	△136,500

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	PlayStation専用ゲームソフト、PlayStation2専用ゲームソフト、PlayStationPortable専用ゲームソフト、PlayStation3専用ゲームソフト、ニンテンドーDS専用ゲームソフト、Wii専用ゲームソフト
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ
アミューズメント事業	業務用アーケードゲーム機器、アミューズメント施設運営
その他事業	関連グッズ、関連攻略本

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本（千円）	北米（千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結（千円）
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	701,882	616,394	1,318,277	—	1,318,277
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	134,608	1,586	136,195	(136,195)	—
計	836,491	617,981	1,454,473	(136,195)	1,318,277
営業利益	84,447	78,442	162,890	(162,073)	816

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本（千円）	北米（千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結（千円）
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	759,306	541,887	1,301,193	—	1,301,193
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,050	1,608	50,659	(50,659)	—
計	808,356	543,496	1,351,853	(50,659)	1,301,193
営業利益又は営業損失（△）	△27,628	32,866	5,237	(141,737)	△136,500

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米・・・米国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	計
I 海外売上高（千円）	604,896	604,896
II 連結売上高（千円）	—	1,318,277
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合（％）	45.9	45.9

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	計
I 海外売上高（千円）	431,669	110,217	541,887
II 連結売上高（千円）	—	—	1,301,193
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合（％）	33.2	8.5	41.6

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米・・・米国
欧州・・・イギリス、フランス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。